JAPAN EAST REGION
ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
The International Association of Y's Men's Clubs

Change! 2022 ニュース

No. 40

Change! 2022 推進委員会　2022. 10. 15 発行

▼ 会員増強に思う

『 その時々の時代に合わせ ワイズの魅力をアピール 』

元地域奉仕・YMCAサービス事業主任
小原 史奈子（東京たんぽぽ）

ワイズの魅力、それは常に新しい何かを生み出し行動し、笑顔で皆を巻き込むパワーではないでしょうか。

COVID-19 という謎のウィルス感染が囁き始めた 2020 年の 2 月、東日本区の次期地域奉仕・YMCA サービス事業主任を務めることになり、次年度の準備を始めているところでした。しかし緊急事態宣言やステイホームで人々の行動は制限され、イベント、例会、研修会、そして東日本区大会までも中止。交流する事によって広がったワイズの繋がりが危ぶまれた年でした。けれど、ワイズにはファーストペンギンのように先陣を切って行動するメンバーがあちこちにいました。集まれなくても、個々人でも活動できる方法を次々に提案する人。その新しい試みを実行に移す人。面白がって後押しし、多く仲間を集める力がある人。巻き込まれて楽しむ人など。

各所でメンバー達が起こした「小さな地域活動」は徐々に東日本区のワイズに伝わり、大きな運動になって行く様子をたびたび目撃する事が有りました。

コロナ禍においては、手作りマスク活動、子ども食堂から派生したお弁当作りにフードバンク支援、フードパントリーやフードトラック。

自然災害などの被災地支援活動やネットを使った各種献金に、クラウドファンディング。

オンライン形式での例会、会議、イベントやコンサート開催。

また、今までも行なっていた環境美化運動を SDGs にからめて地域の他団体とコラボレーションするなど、様々な手法でワイズの活動は継続していきました。

困っている人に寄り添う感度の良さはワイズの魅力の一つ。自発的に始まった活動にはとても熱心。その一方で国際協会や区からの提案には関心が薄め？　9 月の第 3 土曜はワールドクリーンアップデイ「地球を一斉にキレイにする日」とアナウンスしましたが、行動を起こして頂けましたか？

せっかくワイズに関わっているのですから、【ワイズドットコム】から流れてくる国際協会や、東日本区の情報を、自分事として関心を持ち、情報を見に行って頂けると嬉しいです。発信する側も、興味を引くようなタイトル付けのもうひと工夫が必要なのかもしれませんが。

2022 年も秋になり、感染者数も徐々に落ち着いてきました。久しぶりに人と会う機会を得て「自分にも何か出来る事がないか？」と思う頃合いでしょう。落ち葉拾いなどの環境美化活動をしながら、地域の方と雑談し、ワイズや YMCA でのイベントに誘って、参加する楽しみや行動する楽しみをいっしょに思い出しませんか？

≪ 小原 史奈子さんのプロフィール ≫

3月15日	東京生まれ
2002年5月	東京たんぽぽYサービスクラブ チャーターメンバーとして入会
2009年7月	クラブ会長（16-18年度も会長）
2018－2019年	東日本区国際・交流事業主任
2020－2021年	東日本区地域奉仕・YMCAサービス事業主任
2021－2023年	東日本区LT委員会委員

▼ 第２回 会員増強委員会報告

東日本区会員増強事業主任
佐藤 節子（厚木）

開催日時：2022 年 9 月 26 日 PM7：00～8：30
開催方法：Zoom
出席者：佐藤節子会員増強事業主任（厚木、湘南・沖縄部主査兼任）
EMC 事業委員会委員・主査：菊地弘生（仙台青葉城）、金丸満雄（東京ひがし）、市川將來（甲府 21）
エクステンション委員長：松香光夫（東京町田コスモス）、二本松能敬（北見）
欠席者：矢竹克年（十勝）、加藤義孝（東京）、深澤勇弘（熱海）、大川貴久（熱海）
オブザーバー：佐藤重良理事（甲府 21）、栗本治郎 Change! 2022 委員長（熱海）
記録：山本俊一副書記（甲府 21）
議事録

- 今回からエクステンション委員長が加わりまして、会員増強の活発な活動を期待する。
- 新潟に出来るだけ早くクラブを作りたい。新宿にもエクステンションの話がある。（東新部）
- 年内で Change! 2022 の任期が終了します。新クラブを期待しています。
- 平均年齢表を参考に、5 年後の会員数を予測しました。理事通信を読んでください。
- 新クラブ設立のきっかけ。甲府クラブは甲府駅北口の周りに薔薇の花を植え管理していました。そのまちづくりに共感した若手の方々がキーマンとなり、友人等の人脈形成を重ね、クラブ設立に至った。
- 湘南・沖縄部では、エクステンション委員長が中心となって、川崎保育園辺りにクラブ設立を計画しています。
- 北見のキャンプ保全をきっかけにサポートクラブを考えてみます。
- 関東東部は、単独の委員会を持っていません。茨城 YMCA の宮田総主事から牛久センター開設の話を伺いました。これを機にこの地区に設立の機運を高めて行く。
- 理想的には、甲府やまなみクラブのようなバランスの取れた年齢層が望ましい。
- クラブ会長宛に YMCA の施設に掲示する「ワイズメンズをご存じですか」ポスターを配布しています。10 月に入ったら YMCA に掲示される運びとなります。

　YMCA の機関誌に東日本区情報の掲載をお願いすることになりました。ワイズの存在を知る機会が増えることを考えています。

- YMCA の機関誌に東日本区情報を掲載の件、担当主事へ周知を確認した方が良い。

▼ 「プロボノ」という言葉の意味

東日本区会員増強事業主任
佐藤 節子（厚木）

佐藤重良理事方針の 1 つに「プロボノを活かした楽しい活動」とあります。

あらためて「プロボノ」という言葉の意味を紐解きますと、語源はラテン語で「公共善」。

「社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かしたボランティア活動」を意味します、とあります。（NPO 法人サービスグラントホームページより引用）

みなさま、「入会候補者リスト B プラン」をもって、知人・友人併せて、お誘いをよろしくお願いします。

▼ 北東部の会員増強

北東部会員増強事業主査
菊地 弘生（仙台青葉城）

今年、北東部の会員増強事業主査の役割をお引受け致しました菊地弘生（仙台青葉城）と申します。

ここ２・３年はコロナ禍の影響により、北東部における事業主査レベルでの活動は思うように行きませんでした。北東部の会員数の推移は、毎年 130 名中頃を維持してきましたが、'22-23 年度前期の結果が 4 名の減となって 130 名を割りました。129 名からのスタートとなります。

そこで、今年のテーマを『ドロップを如何に無くすか、並びにメンバー増強を図るためには、どのような行動をとるか』と題し、北東部でチームを設置することを考えています。その対策等について意見集約を行った上で、現状の進捗状況に応じてクラブ毎の再評価をします。これを今後の活動に繋げて行きたいと考えています。

牽引役としての役割を自覚し、この一年間会員増強活動を実のある内容に心掛けて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

【モンゴルの子供たちへランドセル贈呈式の風景。右側のランドセルを持っている方が、東北モンゴル友好協会のエルデネ ダライさんです。】

▼ 東新部の会員増強

東新部会員増強事業主査
加藤 義孝（東京）

今年度東新部部長方針として、「ポスト Change! 2022」を掲げています。東新部はここ 2 年間において会員数が（2020 年 1 月～2022 年 1 月）91 名から 81 名に減少しています。そして年々平均年齢が上がり、後期高齢者が過半数となっています。

東日本区の会員増強目標は 1,246 名でしたが、これはコロナ禍の前に考えた目標であり、この時の東新部目標は 179 名で、現在 81 名ですから増強会員数は 98 名となります。そこで深尾部長の方針は「ポスト Change! 2022」が必要とのお考えです。この事を考えますと、目標年度を延長せざるを得ないと思います。

そこで東新部の会員増強目標はコロナ禍にあっての**目標は 100 名**、コロナ禍が終息後の**目標は 180 名**と致します。

会員増の方針としては、以下の 2 項目を提唱し今年度の目標とします。

1. 各クラブの現在会員数を厳守する
   - ●身内や友人、子供を誘える例会計画をする。
   - ●会友を増やし、ワイズの記念事業及びオンラインイベント等のアピールを行う。
   - ●アイデアを東新部部報に紹介し、共有する。
   - ●各クラブの例会を東新部内にお知らせし、誘い合う。
   - ●人数が減って例会やイベントを計画する事が難しいクラブは合同例会を提案する。
2. 新クラブ設立に協力し交流を図る
   - ●（仮称）新潟クラブ、新宿早稲田クラブ、新クラブ設立実行委員会を企画する。

以上のことを推進し、今年度の会員増強を進めて行きたいと思います。よろしくお願い致します。

▼ あずさ部の会員増強

あずさ部会員増強事業主査
市川 將來（甲府21）

まだ分からないことも多いため、皆様に助けて頂きながら少しでもクラブが前進するよう活動して行けたらと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、会員の減少や高齢化はワイズに限らず世の社会奉仕団体等に共通することです。会員増強にはこれまで諸先輩方が色々と苦労し活動されて来ており、すでに万策出尽くした感があります。有り体に申し上げれば、ある組織なり会社なりが衰退してゆく理由は、それが今の時代に合わず社会に必要とされなくなって来ている訳で、結論としては変化こそがワイズを維持存続させる為の唯一の道なのではないでしょうか。

これからの活動としてやってゆきたい事は、特に若い方々に向けて、まずはワイズの活動が目に留まるよう YouTube、Twitter、Instagram 等 SNS にアップする試みです。また、これからの時代は入会す

ることについてビジネスや趣味・実益に直結する何らかの「メリット」が感じられるものでなければと思います。いずれにせよ皆が「楽しく気軽に」活動される事が第一で、そうでなくては続きませんし、周囲の方々も「楽しそうだから参加してみようか」という気にならないでしょう。

当あずさ部ではチーム制を組み、それぞれ「YMCA 関係者」「知人友人等」への入会促進、「新クラブ設立」といった活動を行なっております。会員増強には入会候補者のリストアップから始まり、イベントや例会への招待、説明会の開催等々、皆で協力して進めてゆきたいと思います。

【例として、時代の変化が良く分かる写真。
ヴァチカンでの新ローマ法王発表時のもの。
時代の変化は誰のせいでもありませんね。】

▼ ワイズポスターをＹＭＣＡに配布！

Change! 2022 推進委員会委員長
栗本 治郎（熱海）

東日本区各地の YMCA に貼っていただくための「ワイズポスター」が出来上がり、各 YMCA に１部、また、東京・横浜・熱海などの規模の大きい YMCA へは各 10 部、10 月中旬に発送の手はずが整いました。

さらに、東日本区の各クラブへも１部を送りますので、会員増強のためにお役立てください。

ポスターには、「ワイズメンズクラブ公式 HP」へ導く QR コードと、「動画で分かるワイズメンズクラブ」のサイトへ飛べる QR コードを載せて、YMCA 会員向けにワイズの PR をしています。

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任　**佐藤 節子（厚木）**

9 月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No.	新入会者	（クラブ名）	紹介者
1．	藤原 一正	（甲府やまなみ）	仙洞田安宏
2．	米山 俊彦	（甲府やまなみ）	仙洞田安宏
3．	遠藤 恭範	（甲府やまなみ）	仙洞田安宏
4．	松本 公夫	（甲府やまなみ）	仙洞田安宏
5．	三井 雅之	（甲府やまなみ）	仙洞田安宏
6．	菅沼 和也	（甲府やまなみ）	藤原 一正
7．	土橋 順	（甲府やまなみ）	藤原 一正
8．	遠藤 成人	（甲府やまなみ）	藤原 一正
9．	渡邊 隆	（甲府やまなみ）	仙洞田安宏
10．	仙洞田安宏	（甲府やまなみ）	甲府より転会
11．	福田奈里子	（甲府やまなみ）	仙洞田安宏
12．	滝沢 圭太	（東京江東）	小松 康広
13．	堀 公也	（東京江東）	草分 俊一